

資料1 第1回交通バリアフリー推進懇談会の報告

第1回懇談会で出された意見

第1回懇談会は去る11月29日(金)に開催され、みなさまお忙しい中、多くのご参加をいただき、様々な意見交換を行うことができました。主にみなさまからいただいた意見は以下の項目です。

主な経路についての主な問題点、課題

- ・ 放置自転車対策(罰則の適用、モデル地区としての推進等)山手通り拡幅に合わせたバリアフリー整備(放置自転車に関するマナー、ソフト施策重視)
- ・ 既存歩道橋の取扱いについて
- ・ 既存歩道のバリアフリー化
- ・ 中目黒駅高架下の空間の改善

放置自転車対策について

- ・ 歩道を走る自転車が危ない。
- ・ 自転車専用道を作ってほしい。
- ・ 放置自転車等の取締りが必要。歩道を自転車が走るのは交通違反である。
- ・ 上3歩道橋西銀座商店街の放置自転車がGTタワーの駐輪所ができて減らない。放置自転車対策が進んでいない。
- ・ 山手通りを拡幅する際には放置自転車対策と一体である必要がある。日常の管理(使い方、使われ方)が重要。拡幅に合わせてルール作りをソフト対策と合わせて進めてほしい。
- ・ モデル地区として地区限定で条例等によるマナー規制を求む。罰則付きのルールが必要。
- ・ 放置自転車、違法駐車は防災上も問題、安全確保を求む。
- ・ 放置自転車によって高齢者も安心して歩けない。(目黒区緑道など)無法地帯になってしまっている。その対策のほうが重要ではないか。

既存歩道橋の取扱いについて

- ・ 上3歩道橋はなくしたほうが良い。(架け替えにあわせて)
- ・ 小学生の安全のために設置された歩道橋がやわた歩道橋と小学校前の歩道橋
- ・ 歩道橋が鉄骨で作られたのは、必要に応じて撤去できるようにするためと聞いている。

既存歩道のバリアフリー化について

- ・ 歩道と車道面の高さを同じにできないか。(江戸川区の事例有「朝日新聞 11/21(木)ベビーカーでわかる」)歩道の切り下げが多い。
- ・ 歩道内で勾配が急な所があるので改善を求める。

中目黒駅高架下空間の改善について

- ・ ガード下の横断歩道は危険なので、失くす方向であった。また、ライフ横の横断歩道もなかった。これまでの経緯からすると、必要がなくなっている。
- ・ 上3歩道橋は直近に横断歩道がある。上3歩道橋はなくしたほうが良い。

その他

- ・ 目黒川両側道路は、日曜日車両規制がある筈だが、実際は通行車両がある。
- ・ 歩道の広い場所や入船公園をバイトの集合場所に使っている。
- ・ 管刈公園へ向かうアプローチ道路（目黒川の一本北側の道）が危険。坂が多い。抜け道になっている。安全確保を求む。

なお、第1回懇談会の内容について、詳しくは事前送付（第1回懇談会参加者）あるいは本日配布いたしました第1回懇談会の議事録をご参照ください。

みなさまへの情報提供について

- ・ 第1回懇談会では開催の広報が不十分な点もありましたが、今回は開催に当たってホームページで開催のお知らせを流すとともに（前回議事録等資料のダウンロードも可能）、前回参加いただいた方へは資料とともに案内を送付させていただきました。
- ・ 今後も、情報提供については、早い段階でホームページを利用して行うとともに、その他の手段についても引き続き検討しております。なお、目黒区交通バリアフリー推進基本構想のホームページアドレスは以下のとおりです。

URL：<http://www.city.meguro.tokyo.jp/tosikei/barrierfree/index.html>